

## 松行 輝（まつゆき あきら）



京都市山科区で大工を経験後、自分のペースで働ける農業がしたいと考え、3か月間の農業大学校での短期研修と2年間の農家研修を経て、平成28年(2016年)に福知山市三和町で新規就農しました。ハウスの改良や作業小屋の建設など、大工の経験を生かして楽しく農業しています。

丁寧なほ場管理と栽培管理を心がけ、令和5年度中丹特産物品評会、万願寺甘とうの部で最優秀賞である知事賞をいただきました。妻と愛犬のメイと、田舎暮らしを満喫しています。



農園は京都北中部の福知山市三和町にあります。福知山市の中でも京阪神に近く、丹波地方ともいわれています。僕も含め、移住された若い農家の方が増えてきました。

パイプハウスは6棟あります。主に万願寺甘とうを栽培していますが、最近、冬作としてコカブの栽培もはじめました。コカブは地元スーパーに出荷しています。



### 僕が実践する、万願寺甘とうで高収量を達成する方法

- ・農業は自分自身との闘い。上司がないので、自分に甘いと怠けてしまう。
- ・事前準備が一番大事。年間の作業が終わったら次の作の始まりと考え、先の作業の準備をする。
- ・年間の作業スケジュールを事前に考え、ゆとりをもった計画を立てる。1か月、1週間ごとに自分の達成目標を決め、やりきる。作業遅れが大敵なので、つねに作業効率を考え、一つ一つの作業を丁寧に行う。
- ・「去年は大丈夫だったから、今年も大丈夫」ではない。慢心は厳禁。植物を常に観察し、病気や害虫にはすぐに対応する。



僕は万願寺甘とうにこだわりを持って栽培しています。万願寺甘とうは植えたら収穫できるわけではありません。いきなり就農するとわからないことだらけなので、まず既存の農家で研修される方がよいと思います。僕でよければ過去の経験を踏まえてアドバイスしますのでご連絡ください。